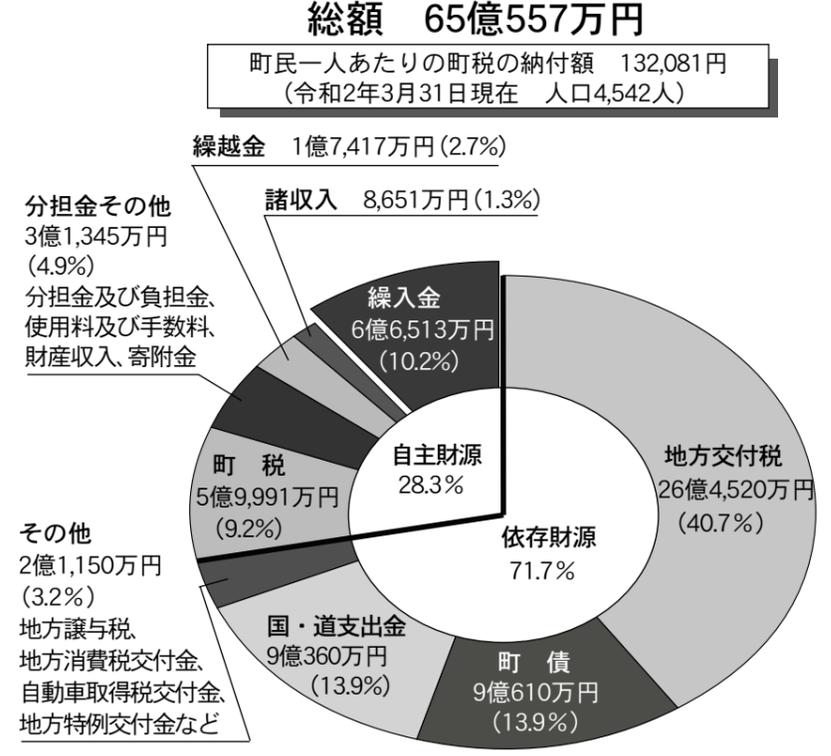


# 《令和元年度決算》

## 津別のまちの家計簿

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。これらが、行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に令和元年度決算の状況についてお知らせします。

### 【グラフ1】歳入（一般会計）



#### 一般会計・歳入

令和元年度の歳入決算額は、65億557万円となり、対前年比6.1%の増となりました。これは国庫支出金、町債等の増が主な要因となっています。

歳入の内訳（グラフ1参照）を見ると、国から交付される地方交付税が最も大きな財源になっており、令和元年度では26億4520万円（歳入全体の40.7%）を占めています。これに国・道支出金や地方譲与税等の交付金、財源不足を補うために措置された町債を合わせた依存財源は71.7%になります。

残りの28.3%は、町民の皆さんが納付している町税等の自主財源です。町税の総額は5億9991万円（一人当たり13万2081円の納付額）になっています。一般会計の決算では、基金から6億6513万円を取り崩し、歳入の不足分を補いました。

#### 一般会計・歳出

歳出の最終決算額は、63億5275万円（対前年比10.4%の増）となりました。

衛生費は、一般廃棄物最終処分場施設整備事業等の増により2億9584万円の増となっています。

教育費は、トレーニングセンター施設整備事業等の増により8180万円の増となっています。

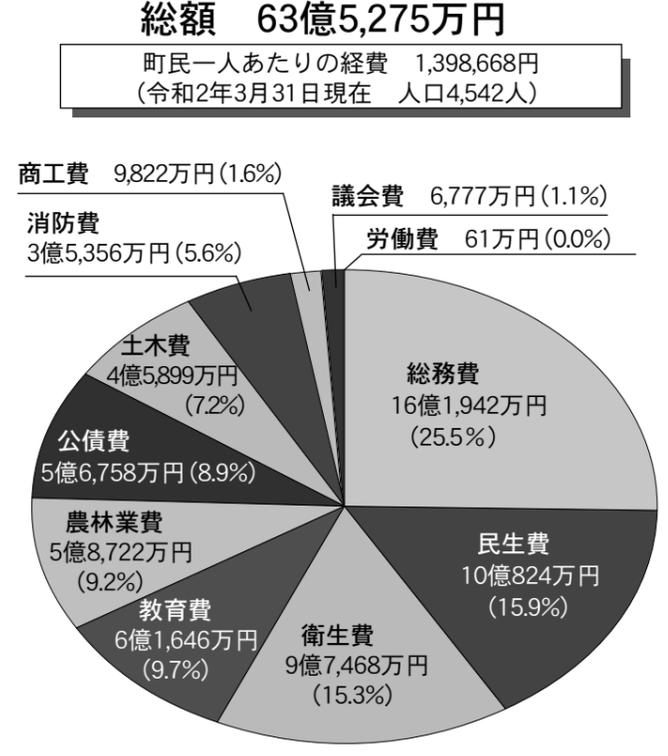
消防費は、事務組合負担金の減により1億3631万円の減となっています。

商工費は、商工振興補助費等の増により1969万円の増となっています。

※対前年比が大きい項目を中心に紹介しています。

公債費とは、町が事業を行ったときに借りたお金の償還額です。令和元年度決算では元金の増により2984万円の増となっています。

### 【グラフ2】歳出（一般会計）



#### 特別会計・企業会計

このほか特別会計として、国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・下水道事業の4事業会計（表1参照）と、企業会計である簡易水道事業（表2参照）があり、それぞれ私たちの生活と密接に関わっています。

各会計とも健全財政に努めています。不足分を補うため、一般会計から法定繰り出しを含めて4億4498万円が繰り出されています。

#### 【表1】特別会計決算額

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	7億6,004万円	7億5,968万円
後期高齢者医療事業	8,996万円	8,991万円
介護保険事業	6億685万円	6億600万円
下水道事業	3億4,842万円	3億4,480万円

### 歳出（一般会計）の内訳

- 総務費  
庁舎等建設事業、財政調整基金積立金等の増により対前年比10.4%の増。
- 民生費  
地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金経費、介護保険事業特別会計繰出金等の増により対前年比2.2%の増。
- 衛生費  
簡易水道事業特別会計繰出金、一般廃棄物最終処分場施設整備事業等の増により対前年比43.6%の増。
- 教育費  
トレーニングセンター施設整備事業等の増により対前年比15.3%の増。
- 農林業費  
給与費、木材工芸館整備事業等の減により対前年比2.9%の減。
- 土木費  
道路橋梁維持整備事業、町営住宅等建設整備事業等の減により対前年比10.4%の減。

【表2】企業会計決算額

会計	収益的収支	
	収入	支出
簡易水道事業特別会計	1億8,379万円	1億6,578万円
	資本的収支	
	収入	支出
	2億8,157万円	3億2,090万円

#### 【表3】一般会計性質別内訳

	元年度決算額	30年度決算額	増減率
人件費	9億887万円	9億3,249万円	△2.5%
物件費	9億7,137万円	9億1,878万円	5.7%
維持補修費	6,326万円	7,434万円	△14.9%
扶助費	3億4,022万円	3億3,517万円	1.5%
補助費	10億3,433万円	11億777万円	△6.6%
公債費	5億6,758万円	5億3,774万円	5.5%
積立金	6億5,578万円	5億1,213万円	28.0%
投資出資金	0	2,500万円	△100%
貸付金	300万円	300万円	0.0%
繰出金	4億9,658万円	5億618万円	△1.9%
投資的経費	13億1,176万円	10億586万円	30.4%
合計	63億5,275万円	59億5,846万円	6.6%